

MEIKAI-JOE PLUS  
2023  
釧路市立朝陽小学校6年

第4回 授業研究講座 「聞くこと、話すこと」  
2023年7月26日

井熊ひとみ

# MEIKAI-JOE プラス 2023 第4回講座

## テーマ：「聞くこと・話すこと」

単元名： Unit 3 Let's go to Italy. (2/8時間目)  
教科書： NEW HORIZON Elementary English Course(東京書籍)  
本時ねらい： 友だちと行きたい国やその理由について伝えあうことができる

協議テーマ：

コミュニケーションを行う**目的・場面・状況**を設定し、児童が自分の**考えや気持ちを伝え合う言語活動**を繰り返すことで、**相手意識をもち、ターゲットセンテンスに使い慣れるよう**、授業が組み立てられていたか。

# 研究授業のふりかえり

## 導入

あいさつ： **既習事項**を含めて進められている  
6年生という就学から、**よりスムーズな進行（速度）**が出せる可能性  
日付や曜日は、スペル確認なども短く行い、**頻度の効果**

Flag Quiz： 画面を利用した効果とW/UP **復習** ⇒ 本時のテーマへ

Chant： 生徒全体 Where do you want to go? ALT: I want to go to～.

ALTの行きたい国クイズ：

列ごとに行きたい国を決めて Q&A ⇒ **英語らしいリズムのやりとり練習**

生徒全体 (S s) ⇒ Where do you want to go? ⇒ ALT が行きたい国は？

**段階をおって、グループの練習ができる効果。**

本時の**目標を児童と共有**する：行きたい国をたずね合う

### 導入から

- ① 全体練習 ⇒ グループ練習 ⇒ ペア活動への移行効果
- ② リズムボックスを使用するナチュラルな英語へのドリル活動
- ③ 本時の目標を2段階に分けて進行する計画 国のみ ⇒ 理由をつけて

## 展開

- ① 行ってみたい国をたずね合う。⇒ ペア活動
- ② リキャストを意識したたずね方のモデル ⇒ ペア活動
- ③ 理由をつけて2回のやりとりのモデル ⇒ ペア活動

### 3つの活動から

- ①必ず先生とALTのモデルを示している ⇒ 理解の確認
- ②「チャレンジャー！」という表現で個人の発言を促して ALTとの会話
- ③リアクションの示し方 ⇒ リアクションをすること「聞く態度の大切さ」
- ④自然な進行で「理由」を尋ねてみる ⇒ モデルを示す see/buy/eat  
児童からの言いたい表現をどう表現したらいいかの主体的な姿勢
- ⑤理由をつけて表現することに練習が必要（Picture Dictionaryなどを参考にしている）  
⇒選択肢を少しにして練習してから個人活動に移行する方法
- ⑥中間支援でリアクション等のリマインド ⇒ 最後に(さらに) That's nice! Oh, I see.

# まとめ

- ① この単元目標「話すこと（やりとり）」に即した無理のない進行
- ② 児童に学習の目的が理解できるような指導者の導き
- ③ 中間支援をていねいに行うこと
- ④ 児童の互いに聞き合ったり、教え合ったりする姿 関心や意欲をもった姿勢や態度

## 提案として：

- ① 自分の行きたい国を、ICTなどの教材を使用して、「調べ学習」なども効果がある。  
⇒ 行きたい国の理由が明確になる ⇒ 伝えたい（思い）他者との共有（承認）
- ② 文章が長くなると、「まるごと覚えている（状態の）」児童と、年齢からも思考して自身の意見を持つことをふまえて、言いたいことがすぐに英語で表現することの困難さを実感する。  
それを乗り越えるための「できた」「わかった」をどれだけ作れるか